

表1 臼杵湾赤潮プランクトン調査結果(R5.8.7)

単位：細胞数／c c

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	溶存酸素 (mg/l)	シャットネラ spp.	カレニア ミキモトイ	ヘテロシグマ アカシオ	ゴニオラックス ポリグラマ
1. 大在						欠測			
2. 神崎						欠測			
3. 古宮						欠測			
4. 一尺屋						欠測			
5. 下の江	9:31	0	25.1	32.82	7.1	0	0	0	0
		7	21.8	33.24	7.2	0	5	0	0
6. 下の江 (奥)	9:35	0	25.1	32.75	7.0	0	3	0	0
		6	21.8	33.24	7.4	0	5	0	0
7. 日ノ浦	10:07	0	25.4	32.91	7.2	0	0	0	0
		7	21.8	33.30	6.9	0	39	0	0
8. 三つ子養殖場	10:02	0	24.8	32.73	6.7	0	1	1	0
大分みらい水産		7	21.7	33.29	6.5	0	333	0	0
9. 三つ子養殖場	9:42	0	24.4	32.97	7.1	0	0	0	0
臼杵海産		6	21.7	32.92	6.3	0	187	0	0
10. 日代						欠測			

※地点1～11において中部振興局採水・検鏡

参考：赤潮注意・警戒密度（単位：細胞数／c c）

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラ spp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コクロデニウム・ホリクイコイデス	30以上	300以上

* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。

